



関西大学
体育会野球部

奪首×Dash! 第12号

2012. 12

◇新チーム始動！

新幹部、2013 スローガンを発表

◇秋季リーグ戦結果報告

関学に連勝するも、第3位

◇4年生特集

引退、次のステージへ

◇OB訪問

初の女子マネージャー登場



新チーム始動！「^{むすぶ}系吉 ~想いはひとつ~」

新しい幹部の下、新チームが動き出しました！ミーティングを重ね、スローガンはチームがひとつになり、団結して勝利を掴もうという気持ちを表す、「結^{むすぶ} ~想いはひとつ~」に決まり、「このチームで必ずリーグ優勝を成し遂げよう！」と、部員一同意気込んでいます。いつも応援してくださる皆様へ「優勝」という報告ができるよう、チーム一丸となって頑張ります！

主将 西郷 遼平

新チームが始動し、このチームのキャプテンを任されることになりました。チームの顔となるよう、グラウンド内だけでなく、常日頃の行いから部員の手本になりたいと思います。そして、長年の目標であるリーグ優勝、神宮出場を必ず果たします。これは、私1人の力では成し遂げることはできません。全員で力を合わせて頑張りますので、応援よろしくお願いします！

主務 森岡 拓也

最上級生となり、身の引き締まる思いです。優勝するために何をしなければならないか、ということを常に考え、一日一日を大切にしていきたいと思います。これからも、応援よろしくお願いします。



左から

主務・森岡 拓也（商3・今治西）

副将・和田 優輝（総情3・報徳学園）

主将・西郷 遼平（政策3・報徳学園）

副将・榎矢 孝則（商3・倉敷）



秋季リーグ戦を終えて～第3位、8勝6敗勝ち点3～

春季リーグ戦3位という結果から、今季こそは優勝と誓い挑んだ秋季リーグ戦。初戦の京大戦が黒星で不安なスタートとなりましたが、関関戦で2連勝を飾り、チームに勢いがつきました。立命戦、近大戦は3戦目までもつれ込むものの勝ち点を落としてしまい、第3位となりました。しかし、今季のリーグ戦では最終回での逆転が多くみられ、勝利への執着心を感じたシーズンとなりました。多くの方々に球場へ足を運んでいただき、応援していただいたことを心から感謝しております。皆様のご声援がチームの力となりました。ありがとうございました。



VS 京都大学

～開幕戦落とすも勝ち点1!～



京大戦HERO

石田 光宏(経1・近江)
1戦目、3戦目の2試合で好リリーフを見せ、チームを活気づけた。

今季こそは「優勝」と全員が意気込んで挑んだ開幕戦は10安打と打撃面は好調。しかし、あと一本が出ず得点にはなかなか繋がらなかった。わずかなチャンスを実に掴んだ京大が勝利し、関大は黒星スタートとなった。

負けるわけにはいかない2戦目は、投打が噛み合い6-1と快勝!奥村(文4・大阪桐蔭)が2本の二塁打を放ち、得点に大きく絡んだ。3戦目は山下博(文2・三田祥雲館)のスライズ、李(政策4・京都国際)の二塁打で得点を挙げるが、京大に何度も攻め立てられ緊迫した試合となった。吉川(経4・履正社)、石田光の継投で何とか踏ん張り無失点に抑えた。8回終了後、豪雨のため試合終了。第1節の勝ち点を挙げた。

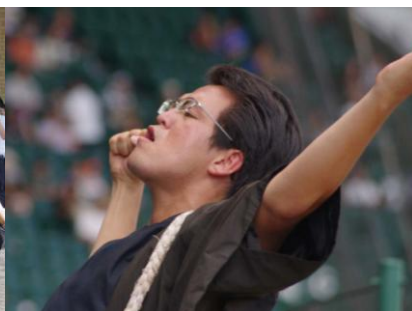
伝統の関関戦は、2連勝で勝ち点を挙げた。1戦目は吉川が完封勝利、打線も好調で、今春の雪辱を果たした。打撃では、西郷(政策3・報徳学園)が三塁打を放つ活躍をみせた。2戦目は、終盤に逆転を許し、苦しい展開となったが、9回二死から、中園の同点打、藤嶋(人間2・神港学園)の逆転打など打者一巡の猛攻で逆転に成功した。最後は近藤(商4・福知山成美)が締め、関関戦は劇的な試合展開で、勝利を収めた。

VS 関西学院大学

～9回2アウトからの逆転劇～

関学戦HERO

中園 拓磨(文4・奈良大附)
形勢逆転となる一打を放ち同点とすると、関大打線に流れを持ち込んだ。



◇ 伝統の関関戦、温かいご声援ありがとうございました ◇

VS 同志社大学

～緊迫した接戦制す！～



同大戦HERO

近藤 均(商 4・福知山成美)
同大打線を見事なピッチング
で抑え、チームを勝利へ導い
た。

1 戦目はエースの吉川が制球に苦しむ。中盤に同点に追いつくことに成功したが、試合は延長戦に突入。10 回に吉川が力尽き、サヨナラ負けを喫する。2 戦目は、2 回に4 点を奪われ、苦しい展開となった。9 回、2 点差を連打と江原(人間 2・履正社)の絶妙なバントで好機を作り、西田尚(人間 1・東大阪大柏原)の一打でサヨナラ勝ちを決めた！3 戦目は、7 回に代打・三川(人間 2・大産大附)の適時打で1 点をとると、その1 点を先発の近藤が守りきり、1 2 奪三振、自身大学初の完封勝利を収めた！

VS 立命館大学

～心対決、無念の惜敗～



立命戦HERO

西田 尚寛

(人間 1・東大阪大柏原)

1 戦目、均衡を破る一打を放つ。
投手戦となった試合の決定打と
なった。

昨季優勝の立命との初戦は、吉川の要所を締める投球で完封勝利。西田尚や藤嶋の適時打など、チャンス逃さず得点に結びつけた。2 戦目は投手戦となった。6 回まで完璧に抑えていた近藤であったがスクイズで1 点を奪われ、そのまま試合は0-1 で敗れた。3 戦目は、何度も好機を迎えるが、相手の好守備により点を奪えず、立命打線につかまり、1-5 で今季初の勝ち点を落とす結果となった。

VS 近畿大学

～4年生、粘りの一勝～

近大戦HERO

江原 翔太(人間 2・履正社)

2 戦目、持ち前の小技を活かし、
代打でセーフティスクイズ
を決めた。



最終節となった近畿大学戦。1 戦目は、守備の乱れから先制点を許す。自慢の打撃陣も振るわず、0-1 で敗れた。2 戦目は、先制するも中盤にリードを許し追う展開となるが、吉川の一打や四球など終盤に怒涛の攻撃を見せ、逆転勝利。最終戦へ望みを繋いだ。そして3 戦目、近藤が初回到に1 点を奪われてしまい、その1 点が決勝点となる。近大投手陣の好投により2 安打に抑えられ、0-1 で敗れた。

コーチ 木下 賢治 (H15入)



秋季リーグ戦、ご声援ありがとうございました。7 季ぶりにベンチに入り、選手が100%の力を出せるよう、サポートしようと決めていました。まだまだ力不足な点もあったと痛感致しましたが、ベンチ、スタンド、スタッフ陣が全員一丸となって最後まで戦えました。少し期間が空きますが、この冬を選手と共に乗り越え、来季のリーグ戦こそ優勝を目指します。これからも応援よろしくお願い致します。

秋季新人戦

11月7日、8日に豊中ローズ球場にて、秋季新人戦が行われました。

初戦 対京都大学 10-0



初回からチャンスをつくり、流れを関大へと引き寄せた。3回の攻撃で一、三塁から藤嶋の遊ゴロの間にランナーが生還し先制した。さらに4回の攻撃では無死満塁の好機から仲尾(文2・上宮太子)の右前適時打で1点を追加。続く合田(経1・清教学園)の左翼線適時二塁打や、山口(政策2・東福岡)の右越2点本塁打など、この回大量9得点をあげた。投げては先発の畑瀬(政策2・関大北陽)が4回を2安打無失点に抑える好投を見せた。5回から1イニングずつの継投で、堤邦(人間2・姫路南)、森本(社2・明誠学院)が相手打線を抑え、最終回は庄司(法1・北嵯峨)が三者凡退に抑える完封リレー。関大は初戦をコールド勝ちし、決勝にコマを進めた。

決勝 対立命館大学 4-4 (連盟規定により、引き分け)

序盤、立命に主導権を握られ、4回に2点を先制されるが、6回の攻撃で藤嶋と西田尚の連続二塁打で1点を返す。先発・佐々木裕(商2・今治西)が気迫のピッチングで6回を投げきると代わった森本、畑瀬も最小失点に抑える。2点ビハインドで迎えた9回、藤嶋の右前適時打で1点を返すと、再びチャンスをつくり、山口の犠飛で同点とする。しかし、後続が断たれ、4-4の引き分けで試合終了。連盟規定により延長戦は行われず、同率ではあるが、優勝という素晴らしい形で秋季新人戦を終えた。

最優秀選手賞獲得 西田 尚寛



個人として最優秀選手賞を獲得したことはとても嬉しいです。しかし、チームは引き分け同率優勝となり、悔しいですが、この冬しっかりと練習をし、来季のリーグ戦は必ず優勝してみせます。これからも温かいご声援をよろしくお願いします。

新人戦主将 仲尾 淳志



新人戦のために3年生が練習で補助をしてくれ、さらに応援にも来てくれた事がとても大きな力になりました。そのおかげで同率ではありますが、優勝することができました。本当に感謝しています。春のリーグ戦に向けて、チーム一丸となり優勝を目指していきます。これからも頑張りますので、ご声援よろしくお願いします。

◇編集後記 マネージャー2年生 平尾 千尋

尊首×Dash 第12号はいかがでしたか？ 秋季リーグ戦を終え、関大野球部は新たなスローガン「結^{むすぶ}～想いはひとつ～」を掲げ、今まで以上に精力的に活動しながらチーム力の向上を目指します。いつも応援してくださる皆様に、来季のリーグ戦で「優勝」という報告ができるよう、この冬の厳しい練習をしっかりと乗り越えたいと思います。これからも温かいご声援よろしくお願いします！



4年間お疲れ様でした！



明るく楽しく、時には厳しく、関大野球部を引っ張ってくれました。4年生が引退され、寂しいですがこの4年生が残っていてくださった団結力をそのままに新チームを築きあげていきます。4年間、本当にお疲れ様でした！次のステージでも頑張ってください！

～首位打者・ベストナイン受賞！～

青山 浩之 / 李 勇樹 / 石田 尚 / 伊藤 雄斗
井原 鈴加 / 岩田 耀平 / 浦田 勇輝 / 奥村 翔馬
小田 健人 / 小野 鉄丸 / 北川 拓郎 / 木元 秀映
久保 舜司 / 黒岩 悠貴 / 小林 直哉 / 近藤 均
隅田 尚吾 / 妹尾 徹也 / 高矢 真伍 / 田中 陽介
谷 幸樹 / 谷口 大介 / 中園 拓磨 / 西 凌太
福士 裕之 / 福田 一生 / 水田 一平 / 水野 賢一郎
水野 謙志 / 吉川 侑輝 / 吉田 大輝 / 吉田 雅紀
吉富 仁智

計33名

奥村 翔馬

秋季リーグ戦で合計20安打を放ち、リーグトップの打率0.377で首位打者、外野手としてベストナインを獲得する。4番、副主将としてもチームを牽引した。



前主将・吉川 侑輝

秋季リーグ戦も終わり、野球部を引退しました。今まで応援してくださったOB、保護者の方々、スタッフ、関大野球部に携わってくださった全ての方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。私たちの学年は、入部してすぐに不祥事が起こり、部を立て直すため、皆で必死に頑張っていくことができたと感じています。様々なことを乗り越えた学年であるからこそ、絆も強く、この4年間支え合ってきました。33人の仲間たちと4年間野球ができたことを嬉しく、また誇りに思います。スローガン「心～もう一步喰らいつけ～」を掲げて挑んだリーグ戦では、優勝争いをするものの、悲願の優勝には届きませんでした。悔しい思いをしましたが、部員全員で戦えたので、悔いはありません。後輩達が必ずや優勝という目標を成し遂げてくれると信じています。4年間本当にありがとうございました。



OB訪問

～ 第四回 平松あけみさん ～

第四回目となる今回は、現役時代マネージャーとして4年間活躍され、現在は関西学生野球連盟の理事をされていていらっしゃる、平松さんにお話を伺いました！



平松 あけみ(S40 入)
豊中高校から関西大学へ。
凸版印刷に入社し、人事教育に励む。2年半後に退職し、家業の学生服専門店で35年間継ぐ。その後独立し、株式会社エーアンドアッシュを設立。

Q. 現役時代の印象深い思い出はありますか。

3年生の時にリーグ優勝を果たしたことです。この年は全日本大学野球選手権大会が記念大会だったため神宮球場ではなく、名古屋の瑞穂球場で行われました。初戦敗退に終わってしまいましたが、今でも良い思い出となっています。神宮球場で試合を行えなかったことだけは、少し心残りです。また、リーグ戦の時は放送委員として関大の試合のアナウンスをしていました。毎試合、緊張しながらでしたが、貴重な経験ができました。

Q. 現役の選手に伝えたいことはありますか。

私自身、平成6年より連盟の理事になり、関大の選手たちを見る機会が増えたのですが、現役の選手たちが社会人になるのを見届けることが何より嬉しく、マナーの良い関大の選手を見るたびに、いつも若さをもらっています。私が現役の頃は、4学年合わせて35名程しか部員がいなかったのですが、当時に比べ、今の関大は部員が増えたので、見てみると羨ましい限りです。少し欲を言うならば、がむしゃらさが欲しいですね。また、私は普段「一球の大切さ」という言葉を大切にしています。人生は野球と同じ。選択を間違えずに、将来に向かって突き進んでもらいたいです。これからも、選手たちの活躍に期待しています。頑張ってください！

～ 貴重なお話、ありがとうございました ～

関西大学野球倶楽部

12月1日に3年生を対象に、就職セミナーが行われました。野球部OBの5名を講師にお招きし、各職業の主な仕事内容をはじめ、就職活動の経験談などをお話していただきました。講演後にはグループに分かれて相談会が行われ、選手たちは積極的に質問をするともに、先輩方のアドバイスに熱心に耳を傾けていました。3年生にとって、企業の方と直接お話できる機会は少ないので、今後の良い参考になりました。

＜今後の予定＞

- ・12月6日、OBゴルフ大会が開かれます。学年問わず、交流を深めるいい機会となっています。
- ・12月12日は、アーバネックス備後町ビルにてOB幹事会が行われます。新しい名簿の作成や野球部創部100周年記念事業開催に向けての話し合いが予定されており、100周年を盛大に祝福できるよう、企画していきたいと思えます。



写真：就職セミナーの様子